

第4学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを分かりやすく文章に書き表せるようにする。 ○児童が互いの考えの相違点や共通点を考えながら友達の意見に耳を傾けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立てメモを活用するなど構成を意識して文章を書かせるようにする。また、児童同士で互いの文章のよいところを価値付けできるように見合う時間を取り入れる。 ・話し合う前に相違点を明確にしたり、友達の意見に対する感想を書かせたりすることで、友達の意見に耳を傾けさせていく。 	
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の様子や絵地図に示された情報を読み取り、その特色を考察する力をつける。 ○資料を活用してまとめる技能を身に付けさせていく。 ○主体的に、社会的事象について解決する力や判断する力を伸ばしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの東京都や地図帳などの資料の活用を多くし、地域の特色を理解させる。 ・調べ学習を取り入れ、調べたことや考えたことを自分の言葉で表現、発表する機会を増やす。 ・学習問題を立てたり、様々な資料を提示したりすることで、興味をもたせ、主体的に学習に取り組ませる。 	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的な内容の定着を図り、学習内容の理解を深める。 ○道具を正しく使い、表や図を正確に作図する力を育てる指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。また、各クラスで連携を取りながら習熟度別学習を実践する。 ・具体物を用いて操作の仕方を分かりやすく示す。また、道具の使い方を繰り返し練習させたり、習熟問題に多く取り組ませたりする。 	
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象の変化に着目し、変化とそれに関わる要因とを関係付けながら調べるようにする。 ○科学的な見方や考え方を育成するため、観察・実験や自然体験、科学的な体験を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を工夫することで進んで予想を立てたり、単元計画を工夫することで既習内容を生かして学習に取り組んだりできるようにする。 ・体験をさせることで、興味、関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。 	
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの運動領域で、基本的な動きや技能を身に付ける必要がある。 ○自己の運動の課題を明確にし、課題解決のための方法や活動を工夫できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動で主運動につながる動きを取り入れる。また、基本的な動きが身に付く場の設定をしたり、補助具を活用したりする。 ・学習のめあてを明確にし、児童が自分なりの課題を見つけて授業に取り組めるようにする。また、学習の振り返りでは学習カードを活用して、児童が成果と課題を実感できるようにする。 	

<p>総 合</p>	<p>○自ら課題を見付け、よりよく課題を解決する力を伸ばせるようにする。</p> <p>○防災学習では、体験を取り入れる。また、学習したことを生活と関連させ、生かせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもたせ、計画的に取り組ませる。ワークシートを活用して、児童が過程や成果を振り返ることができるようにする。 ・自分だったらどうするかを考える活動を取り入れ、体験を通して、学びが深まるようにする。 	
<p>道 徳</p>	<p>○自分自身と結び付けて道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにする。</p> <p>○多様な視点から話し合い、考え、議論する道徳の充実を図り、自己のよりよい生き方を考えさせていくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動や話し合う活動など、自己の心情、判断等を表現する機会を充実させ、今後の生活の改善まで考えさせる。 ・一人一人の考え方や感じ方を大切に授業の展開を工夫する。 	
<p>外 国 語 活 動</p>	<p>○外国語に慣れ親しむ機会を多くし、外国語を用いたコミュニケーション能力を育てる。</p> <p>○外国の言語や文化について理解を深めることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や基本的な表現を聞いたり、話したりして、互いに自分の考えや気持ちを伝え合う活動を取り入れる。 ・日本と外国の生活や行事、習慣などの違いを視聴覚教材を通して知り、多様な見方や考え方があることに気付かせるようにする。 	